

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	八千代市児童発達支援センター		
○保護者評価実施期間	令和7年12月16日		～ 令和8年1月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	令和7年12月16日		～ 令和8年1月16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プール療育日を親子登園日とする事で、保護者にセンターでの様子を見てもらいながら、情報共有できる。	親子登園日に親子で一緒に活動することで、日頃の様子を共有したり、保護者から家庭での様子を聞くことで、関わり方を一緒に考えている。	定期的に親子登園日を設け、保護者と情報共有を図っていきます。
2	個別支援計画について理解を得られてる。	個別支援計画面談の中で、家庭での様子を聞きながら、具体的にどのような取り組みをしていくか説明することを心がけている。	今後もその子の状況に応じて計画を立てられるよう、職員の専門性向上を図っていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	怪我をした時、保護者への状況説明が十分できていない事例がある。	処置が必要な怪我をした時は、職員間で状況を共有し、対応策を話し合っているが、保護者への説明が不十分な場合がある。	処置が必要な怪我をした時は、直接保護者に状況を説明し、その後の対応策についても説明をするよう指導を徹底してまいります。
2	面談の中や神経小児科健診の中では、兄弟間の相談も受けているが、保護者から相談がないと支援ができていない。	保護者からの相談を受けてからの支援になっている。	積極的に支援をするために何ができるかを検討してまいります。
3			